

21世紀COEプログラムに係る研究教育活動調査

調査対象及び評価項目について

- ・ 調査対象日(平成15年2月1日現在)
- ・ 調査対象期間は平成12年4月～平成15年1月末とする。
- 印を付した項目については「研究教育活動評価対象者」に係るデータを、
- 印を付した項目については、拠点となる専攻等のうち中核となる専攻等(複数可)に係るデータを、
- 集計のうえ、様式の各項目について記入してください。

事業推進担当者 [] 人(内訳：教授 人・助教授 人・講師 人・助手 人)

研究教育活動評価対象者

<small>(ふりがな<ローマ字>)</small> 氏 名	所属(部局・専攻等)	学 位	現 在 の 専 門
<small>(拠点リーダー)</small>			

[1] 拠点となる専攻等の研究教育活動に係る実績

拠点となる専攻等の研究教育活動について、その特色と国内外における位置付け等について自由に記入してください。

[2] 研究教育活動に係るデータ（共通）

（ 印を付した項目については「研究教育活動評価対象者」に係るデータを、 印を付した項目については、拠点となる専攻等(複数で構成される場合は、その全ての専攻等)に係るデータを、それぞれ集計のうえ、様式の各項目について記入してください。）

1. 研究成果の発表状況及びその水準

(1) レフェリー付き学術雑誌等への研究論文発表状況又は専門書等の発行状況

	平成 1 2 年度	平成 1 3 年度	平成 1 4 年度
レフェリー付き学術雑誌等論文発表数	(件)	(件)	(件)
専門書等発行数	(件)	(件)	(件)
<主な学術雑誌、専門書等名>			

(2) 学会賞等各賞の受賞状況等(受賞時期は問いません)

区 分	受賞等数	代表的な受賞名及び主な外国の科学アカデミー名
国際的な大賞	件	
国際的学術賞	件	
日本学士院賞	件	
国内学会賞	件	
財団等賞	件	
その他の表彰(公的褒章含む)	件	
外国の科学アカデミー会員状況	件	

(3) 国際学会での発表(基調講演・招待講演等)状況

区 分	平成 1 2 年度	平成 1 3 年度	平成 1 4 年度
基調・招待講演	回	回	回
口頭発表	回	回	回
ポスター発表	回	回	回

代表的な国際学会名及び開催年月日(記入は 1 0 点以内とし基調講演・招待講演等の特記してください。)

2. 競争的研究資金等の獲得状況 (総額1,000万円/件以上のものに限る。但し、人文・社会科学系についてはこの限りではない。)				
(1) 科学研究費補助金採択状況				
年 度	件 数	左記件数のうち、特別推進研究(特別推進)と中核的研究拠点形成プログラム(COE)の件数		
平成12年度	件	特別推進	件	・ COE 件
平成13年度	件	特別推進	件	・ COE 件
平成14年度	件	特別推進	件	・ COE 件
(2) 他の競争的研究資金採択状況				
省庁関係助成金		財団等助成金		
年 度	件 数	年 度	件 数	
平成12年度	件	平成12年度	件	
平成13年度	件	平成13年度	件	
平成14年度	件	平成14年度	件	
3. 教員の流動性(拠点となる専攻等のうち中核となる専攻等(複数可)が調査対象となります。)				
(1) 教員の他大学等の経験状況				
	教 授	助 教 授	講 師	助 手
在籍者数(A)	人	人	人	人
Aのうち他大学等を 経験したことのある者(B)	人	人	人	人
$B / A \times 100$	%	%	%	%
(2) 任期制、公募制の導入状況(いずれかにそれぞれ○をつける) ・任期制について ・導入している。 ・導入していない。 ・公募制について ・導入している。 ・導入していない。				
4. 大学院学生に対する教育の状況(拠点となる専攻等のうち中核となる専攻等(複数可)が調査対象となります。)				
大学院学生の在籍及び学位授与状況 (区分制の場合は後期3年間を、一貫制の場合は区分制に相当する3年間を、また、医、歯、獣医学についてはこれらに相当する4年間について回答してください。)				
区 分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	(中核となる専攻等(複数可)として集計した専攻名を列記してください。)
博士課程入学定員	人	人	人	(備考)
博士課程入学者数	人(人)	人(人)	人(人)	
(うち、他大学出身者数)	人(人)	人(人)	人(人)	
(うち、評価対象者が指導教員となっている者)	人(人)	人(人)	人(人)	
博士課程在籍者数	人(人)	人(人)	人(人)	
課程博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	
(うち、評価対象者が指導教員となっている者)	人(人)	人(人)	人(人)	
論文博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	
(うち、評価対象者が指導教員となっている者)	人(人)	人(人)	人(人)	
注：右側の()は内数で外国人留学生数を示す				

[3] 21世紀COEプログラム研究者調書(研究者毎に1枚)	
事業推進担当者 (拠点リーダーを含む)	(所属部局(専攻等)・職名) <small>ふりがな<ローマ字></small> (氏 名) (学位及び現在の専門)
これまでの研究成果、アピールすべき点	
研究・教育歴	
研究者が本申請拠点形成に割り当てる(専従する)時間・労力の割合(貢献度合)及びその役割 () %程度 [<small>(役割)</small>] <small>(研究者の年間の全仕事時間・労力を100%とする)</small>	

研究業績：主な発表論文名・著書名(論文名,著書名,学会誌名,巻,号,最初と最後の頁,発表年(西暦)の各項目を必ず記載すること。本人に下線を引くこと。)

参 考(受賞名及び受賞年度、国際会議発表状況(基調講演、招待講演等の特記)等の積極的に提供すべき情報を記載する。)

[4] 研究教育拠点の特色

「個性輝く大学」の一翼を担う拠点の特色を示すために、効果的と思われるものを、以下の例示を参考に A 4 判 1 枚(表裏 1 枚)に記入してください。なお、これらは例示ですのでこれらに拘束されることなく、他の指標も用いて自由に記入してください。

- 当該拠点に関係した優れた研究者とその貢献状況（退職者等も含む）
 - ・外国における評価を示す事実
 - ・国内外の主要学会におけるフェロー、名誉員など
- 研究成果の発表状況及びその水準
 - ・評価の高い論文誌への発表
 - ・論文の被引用数
 - ・特許申請・取得・実施状況
 - ・国際会議の主催
- 教員等の流動性
 - ・日本学術振興会特別研究員（P D , D C）の受入状況
 - ・外国人研究員の受入状況
 - ・教員の外国における研究歴
- 大学院学生に対する教育の状況
 - ・大学院学生の学会での発表の状況
 - ・専攻修了者の学術研究上又は社会活躍状況（優れた卒業生の輩出状況）
 - ・優れた人材を育成するための教育方法の工夫等の特記事項
- 産業界や地方公共団体等との連携、国際的な連携協力の状況
 - ・奨学寄付金、受託研究、共同研究受入状況
 - ・産業界からの教員受入状況
 - ・地方公共団体等における政策形成への参画の状況（審議会等への参加）
 - ・教育及び研究に係る国際的な連携協力活動や取り組み等の状況
- 大学の運営及び教育活発化の状況
 - ・外部評価の実施状況
 - ・教育研究支援環境（図書館、IT、施設整備等）の整備状況
- その他
 - ・英語による講義実施状況
 - ・教員の学位保持状況
 - ・卒業生からの寄付
 - ・学生による講義評価システムの有無
 - ・当該拠点に係る外国人スタッフ数
 - ・教員や大学院生の他大学等への栄転、昇進等の重要な参考資料